

FAO Newsletter

2007年5月
Vol. 14



今月の統計
アフリカへの
穀物援助量
2004/5年(7-6月)
2,840,000トン
(世界全体 5,809,000トン)

発行：(社)国際農林業協働協会(JAICAF) www.jaicaf.or.jp 〒107-0052 東京都港区赤坂8-10-39 赤坂KSAビル3階 TEL：03-5772-7880 Email：fao@jaicaf.or.jp

Contents

目次

- ハイチ共和国の被災農民を日本が支援
- アフリカ支援に向け連携へ
- 砂漠バッタへの新たな対策
- アフリカ南部の農作物が洪水や台風の被害に
- 鳥インフルエンザの発生件数が減少傾向
- 2007年農産物生産予測が過去最高に
- 農業生産の向上が水不足解消へのカギとなるか
- 貿易警戒リストに2種類の駆除剤が追加
- ラトビア大統領にケレスメダル授与
- FAO、ヨーロッパ・中央アジア地域事務所をブダペストに開設

日本とFAO

Japan and FAO



ハイチ共和国の被災農民を日本が支援



▲農民のニーズに合った種子を配布

ハイチでは、2004年から干ばつ、洪水、度重なるハリケーンの襲来による農業への被害と不安定な政治情勢から、食料自給力が著しく低下し人口の約半分に当たる400万人の農民が飢餓に瀕しているといわれています。

FAOは日本政府からの拠出(約4,800万円)を受け、2004年12月から2006年末までの2年間、ハイチ北西部で農民の自立回復支援事業を行いました。

主な活動内容は、穀物や豆類、唐辛子、トウモロコシなどの野菜種子の配布、マンゴー、かんきつ類の果樹苗木配布と技術指導であり、種子の選定にあたっては、農民の意向を尊重しつつFAOの持つ専門知識を駆使し、ニーズに合った良質の種子を可能な限り現地で調達しました。

また、FAOがハイチ政府や他の援助機関等との調整を行ったことにより、物資調達や支援内容の重複が避けられ、当初予定の倍となる2万軒の農家への支援が可能となるなど、事業の効率化も実現しました。

これらの結果、高収穫が確保され、自家消費用の食物生産のみならず、種子の保存や販売による現金収入なども確保されました。また、果樹栽培は、災害による土壌浸食の防止とい



▲果樹栽培は環境保護の効果も期待されている

った環境保護の側面からも長期的効果が期待されています。

なお、日本政府は、これまであまり援助の手が届かなかった南部地域の被災農民支援に対し、FAOを通じて今年からさらに9,000万円を拠出することを決定しました。

アフリカ支援に向け連携へ

3月26日から4月8日まで、遠藤保雄FAO本部企画戦略部長(前FAO日本事務所長)が来日しました。



▲ガーナの子どもたち

今回の訪日目的は、日本においてG8サミットおよびTICAD IV(アフリカ開発会議)が開催される2008年が、アフリカへの関心が高まる年となることに備え、アフリカ農業開発への支援を依頼することでした。滞在中、関係省庁機関を精力的に回り、FAOが中心となって取りまとめたアフリカ農業開発支援政策へのより一層の理解を求めました。なお、同部長は今回訪日に先立ち、ケニア・ナイロビで開催されたTICAD「持続可能な開発のための環境とエネルギー」閣僚会議にも参加し、FAOのアフリカ向け農業開発援助強化体制作りおよび関係者間の連携強化等にも努めています。

*TICAD IVについては季刊誌「世界の農林水産」2007年夏号に掲載予定

アフリカ

Africa



砂漠バッタへの新たな対策 「アフリカの角」地域における空中抑制オペレーション

FAOは北東アフリカの国々、特に紅海沿岸に位置するエリト

リアとスーダン、ソマリアの3カ国に、砂漠バッタに関する調査と抑制活動を強めるよう呼びかけました。FAOと東アフリカ砂漠バッタ抑制機関(Desert Locust Control Organization for Eastern Africa, DLCO-EA)は共同で、

スーダン・エリトリア国境付近の紅海沿岸で砂漠バッタに対する空中抑制オペレーションを開始しました。これに先立ってすでに数ヶ月にわたって実施されている地上オペレーションは、両国で成功の兆しをみせています。大群の駆除に失敗した場合、スーダン沿岸部のトカールデルタやエリトリア高地の農作地帯に移動することが予測され、農作物への被害が懸念されています。さらには、チャドやニジェール、マリなどの草原地帯を求めて西進する可能性もあり、スーダン内陸部への移動を食い止めることが焦点となっています。FAOはこの他にサウジアラビアの紅海沿岸部と砂漠バッタの春の繁殖場となる南西アジアでの状況を監視しています。(3/28, ローマ)



FAO/Giamliero Diana

▲砂漠バッタには注意深いモニタリングが必要

アフリカ南部の農作物が洪水や台風 の被害に モザンビークとマダガスカルへの支援呼びかけ

台風とそれに伴う洪水が、アフリカ南部で何千haもの農地やインフラ設備に被害をもたらしました。FAOは、特に洪水の被害が大きかったモザンビークとマダガスカルに、他の国連機関と連携した人道アピールの一環として380万ドルに及ぶ資金提供を呼びかけています。モザンビークでは、ザンベジ川の氾濫で28万5,000人が、サイクロン・ファビオの影響で15万人が被害を受け、またマダガスカルでは20万人が悪天候による農作物の被害を受けたとされています。失われた耕具や種子、家畜などと交換ができるクーポン制を導入することで地域市場の活性化を図り、漁業用具や家畜のワクチンも提供されました。さらにFAOは、強雨の被害を受けたザンビアへの支援を近日中に求める方針です。(3/20, ローマ)



FAO/23205/C. Shirley

▲自然災害は農民の生活にとって脅威である

鳥インフルエンザ

Avian Influenza



鳥インフルエンザの発生件数が減少傾向 人々の生活と経済は依然脅かされたまま

H5N1鳥インフルエンザの発生件数や野鳥によるウイルス感染率は、2006年に比べて減少傾向にあります。また、より透明性の高い監視システムが迅速な疫病発生報告に貢献しています。しかし、世界中での拡散防止の動きにも関わらず、H5N1鳥インフルエンザは新たな国や、封じ込めに失敗した国の未感染地域に広がり続けています。疫病は家畜類の生産に関わる人々の収入源や栄養源を奪い取り、彼らの命を脅かします。鳥類から人への感染が発生した場合には、人間同士の間で感染するウイルスへと変異する可能性もあり、何百万もの人命を奪う疫病に発展することも危惧されます。ウイルス封じ込めに成功したタイ、トルコ、ベトナム各国に比べ、インドネシア、エジ



FAO/Tarik Thazay

▲拡大し続けるH5N1鳥インフルエンザウイルス

プト、ナイジェリアでは未だ効果的な対策が行われておらず、また3月には新たにバングラデシュでウイルス感染が報告されました。(4/2, ローマ)

食料事情

Food Situation



2007年農産物生産予測が過去最高に 世界の食料供給の増加にも関わらず、33カ国が食料難の危機

4月にFAOが発行した「Crop Prospects and Food Situation (穀物見通しと食料事情)」によると、2007年世界の農産物生産は、前年比4.3%増の20億8,200万トンに達す

る見込みです。これはすでに南アメリカでの大豊作や米国での大幅な作付け上昇が報告されているトウモロコシの生産量増加に加え、今後増加が予測されている小麦の生産量によるところが大きくなっています。粗粒穀物は5.6%上昇の10億3,300万トン、小麦は4.8%上昇の6億2,600万トンに増加する見込みで、米の生産量は300万トン増加の4億2,300万トンに伸びることが予測されています。しかしながら、食料難を抱える82に及ぶ低所得食料不足国は2006年の平均を若干上回る程度と見込まれており、食料供給の上昇にも関わらず、世界の33カ国は内乱や悪天候の影響で依然食料難の危機にあるとされています。(4/3, ローマ)

※詳細は季刊誌「世界の農林水産」2007年夏号に掲載



▲2007年はトウモロコシの生産量の急増が見込まれる

FAO/23197/O. Thuillier

トピックス

Topics



農業生産の向上が水不足解消へのカギとなるか



▲農業は世界で最大の水消費産業である

FAO/20589/Marzio Marzot

FAOは3月22日の「世界水の日」に、世界で最も水を消費する産業である農業が、高まる需要に伴う水資源の枯渇問題を率先して指摘してい

くべきとの姿勢を表明しました。農業は世界の河川や湖から引かれる淡水の70%を消費し、特に世界の灌漑農地のおよそ4分の3が集まる開発途上国ではこれが95%近くにもなるといわれています。ジャック・ディウフFAO事務局長は、人口増加や気候変動などにより深刻化する水不足は21世紀の挑戦課題であるとし、より効率のいい水資源の利用・管理を促すことで、食料を確保すると同時に自然環境の保護に努める必要性を訴えました。食料生産に水資源は欠かせないことから、FAOはタンザニア、ボリビア、スリランカなどの各国で小規模灌漑計画などを提案し、食料生産向上に努めると共に、持続可能な水資源活用を勧めています。(3/22, ローマ)

貿易警戒リストに2種類の駆除剤が追加 エンドスルファンとトリブチルスズ化合物

2種類の駆除剤、エンドスルファンとトリブチルスズ化合物が、人の健康や環境に悪影響を及ぼす有害化学物質の国際的な取り締まりを促す、インフォームドコンセント手続きに関するロッテルダム条約に含まれることが決定しました。(3/27, ローマ)

ラトビア大統領にケレスメダル授与 社会正義と民主主義への貢献に対し



▲ケレスメダルを授与されたヴィチェ-フレイベルガ大統領 (左)

FAO/Giulio Napolitano

ラトビアのヴァイラ・ヴィチェ-フレイベルガ大統領が、その社会正義、道徳、そして民主主義への貢献を称えられ、FAOからケレス（ローマ神話・穀物の女神）メダルを授与されました。(3/30, ローマ)

FAO、ヨーロッパ・中央アジア地域 事務所をブダペストに開設 共同サービスセンターも同時に設置

FAOとハンガリー政府は、既存の中央・東ヨーロッパ準地域事務所に加えて、ヨーロッパ・中央アジア地域事務所とFAO共同サービスセンターを同国の首都ブダペストに新たに設置することに合意しました。(3/27, ローマ)

関連Webページ

News source: www.fao.org

日本とFAO

- Appeals - Haiti 2007: www.fao.org/reliefoperations/haiti_07_en.asp
- FAO Newsroom "Haiti at crossroads": www.fao.org/newsroom/en/news/2006/1000463/index.html
- TICAD「持続可能な開発のための環境とエネルギー」閣僚会議: <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/ticad/energy.html>

アフリカ

- Locust Watch: www.fao.org/ag/locusts/en/info/info/index.html
- FAO Emergency Relief and Rehabilitation Division: www.fao.org/reliefoperations/index_en.asp
- Global Information and Early Warning System (GIEWS): www.fao.org/giews/english/index.htm
- FAO/GIEWS Global Watch Southern African update: www.fao.org/giews/english/shortnews/SouthernAfrica070319.htm

鳥インフルエンザ

- FAO Animal Health and Production Division - Avian Influenza: www.fao.org/avianflu/en/index.html

食料事情

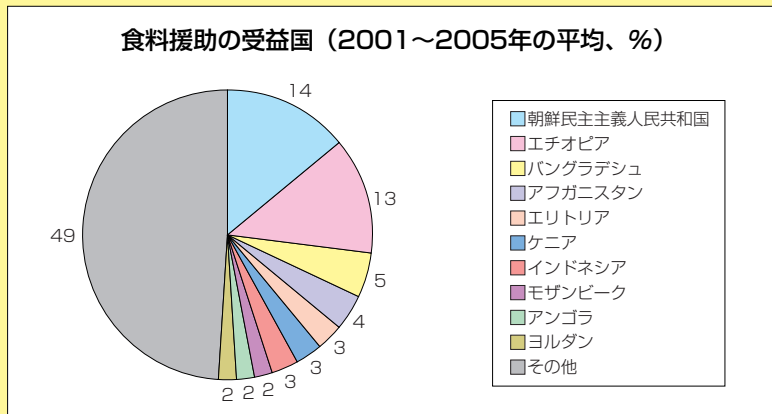
- Crop Prospects and Food Situation: www.fao.org/giews/english/cpfs/index.htm
- Global Information and Early Warning System (GIEWS): www.fao.org/giews/english/index.htm

トピックス

- FAO Newsroom "Coping with water scarcity": www.fao.org/newsroom/en/focus/2007/1000521/index.html
- EU-funded FAO gardens help women through Niger's dry season: www.fao.org/english/newsroom/field/niger/
- World Water Day 2007: <http://www.worldwaterday07.org/>
- World Water Day brochure: <http://www.unwater.org/wwd07/downloads/documents/wwd07brochure.pdf>
- UN-Water: <http://www.unwater.org/>
- Report on a Niger/EU/FAO-supported project in favour of Niger's rural population (mp3): <ftp://ext-ftp.fao.org/Radio/MP3/2007/WWD-Niger-e.mp3>
- FAO water expert Jean-Marc Faur_s talks about the need to tailor interventions to local problems and situations (mp3): <ftp://ext-ftp.fao.org/Radio/MP3/2007/WWD-Faures-en.mp3>
- Vulnerable families in water-scarce Niger are now growing food year-round with small-scale irrigation and land provided by an EU-funded FAO project (mpeg): <ftp://ext-ftp.fao.org/video/2007/WWD-Niger.mpeg>
- Rotterdam Convention: <http://www.pic.int/>
- FAO Regional Office for Europe and Central Asia: www.fao.org/world/Regional/REU/index_en.html
- FAO Sub-regional Office for Central and Eastern Europe: www.fao.org/regional/SEUR/index_en.htm

今月の統計をよむ

食料援助の受益国 (2001~2005年の平均、%)



この円グラフは、最近5年間の食料援助の受益国を示したものです。地域別には、サハラ以南アフリカが約半分を占めます。

世界の穀物生産は約20億トン、そのうち援助にまわるのは、600~800万トン、生産量の0.3~0.4%にすぎません。また、食料援助は先進国の余剰が援助にまわるという側面があ

るため、穀物需給が緩和している時に増加し、逼迫時に減少するという傾向があります。

緊急事態に際しての食料援助の重要性は言うまでもありませんが、長い目でみれば、なによりも必要なのは、開発途上国のオーナーシップに基づいた農業農村開発を推進することです。

(FAO日本事務所長 横山 光弘)

テレフード募金にご協力
お願いします



募金は、アジアやアフリカの食料不足の地域で、貧困に苦しむ人々の食料増産を支援する少額で効果のある「テレフードプロジェクト」に使用されます。

郵便振替口座

00140-1-29732

(FAO飢餓撲滅草の根募金)

ニュースレター・季刊誌の
配布について

本ニュースレターは、季刊誌「世界の農林水産—FAOニュース—」とセットで(社)国際農林業協働協会 (JAICAF)の会員にお送りしています。両誌の定期送付をご希望の方は、JAICAFまでお申し込み下さい。

*ニュースレターは指定場所での配布も行っています。